

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-0053  
 住 所 東京都中央区晴海1-8-8晴海 トリノスカイ7棟19階  
 氏 名 東洋埠頭株式会社 取締役社長 原 匡史  
 (代理人)専務取締役 印  
 川崎支店長 西 修一  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東洋埠頭株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区扇町13-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	倉庫業・港湾運送業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		3,934 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の環境への取り組みについては、ホームページにて紹介しております。 <a href="http://www.toyofuto.co.jp/company/company_csr.html">http://www.toyofuto.co.jp/company/company_csr.html</a>

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策計画

#### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

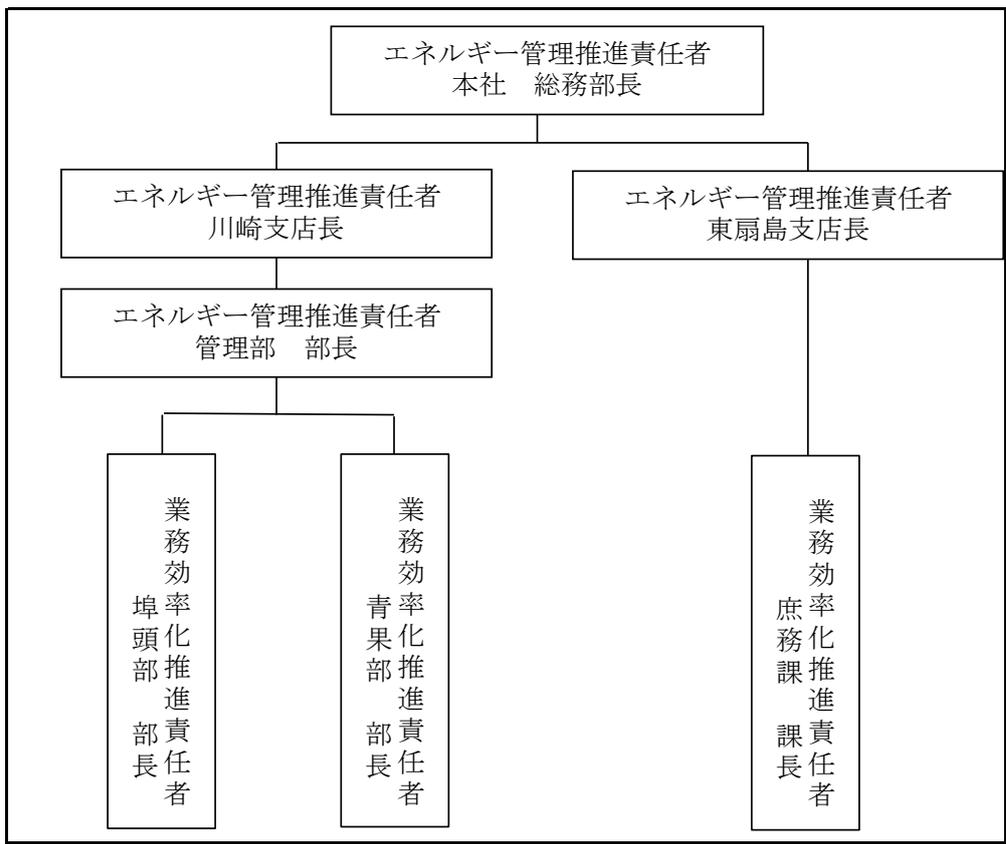
##### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- (1) 環境関連法規を遵守し、環境保全に努める。
- (2) 電気や燃料などのエネルギー使用効率向上を図り、省エネルギーを推進する。
  - ①所有管理している変電所、クレーン、貨物搬送設備、空気調和機、冷凍設備、照明設備の使用に対し、管理標準による運用を行う。
  - ②グリーン調達（環境配慮型の製品、省エネルギー機器）に努める。
  - ③法令に従った廃棄物の適正な処理を行い、廃棄物による環境破壊の防止に努める。
- (3) 本方針を達成する為、目標及び具体的な取り組み、内容を設定し、その進捗状況を監視する。
- (4) 本方針を実施し、維持すると共に従業員にこれを周知させる。

##### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

年度計画の実施項目の進捗管理とエネルギー使用量及び排出量の実績管理を行う。

#### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2021				年度
目標	年度	2024				年度
基準	排出量	(実)	7,753	(実)		
		(調)	8,341 t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
目標	排出量	(実)	7,675	(実)		
		(調)	8,258 t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
削減量		(実)	78 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
内訳	対策実施による削減量	(実)	78 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
削減率		(実)	1.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		-			
原単位の単位		-			
基準年度の値		100.0			
目標年度の値		99.00			
削減率		1.0 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

温室効果ガス排出量を削減する為、目標年度(令和6年度)までに排出量原単位で1%削減することを目標に設定した。  
 (取扱数量の増減が排出量に影響するため、排出量原単位を目標値と捉える。)

○川崎支店  
 機器の更新時期に合わせてエネルギー効率の優れた設備へ更新すると共に、操業状況に応じた設備へ改修することで運転効率の合理化を図る。又、施設、設備の保全管理を実施することで、機器効率の低下を防止する。

○東扇島支店  
 機器の更新時期に合わせてエネルギー効率の優れた設備へ更新すると共に、扉の開閉管理、照明の点灯区画を管理することで過剰な電力使用を抑制し、温室効果ガスの排出量を削減する。

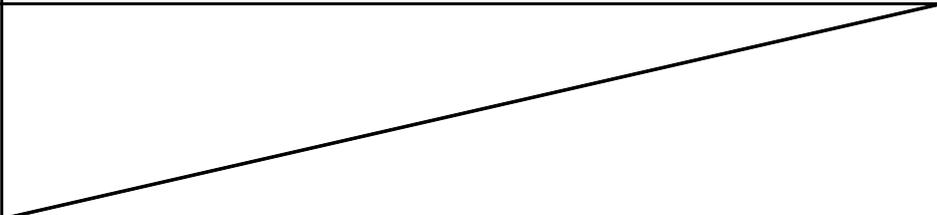
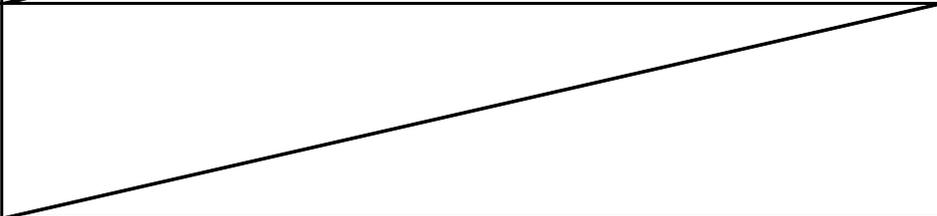
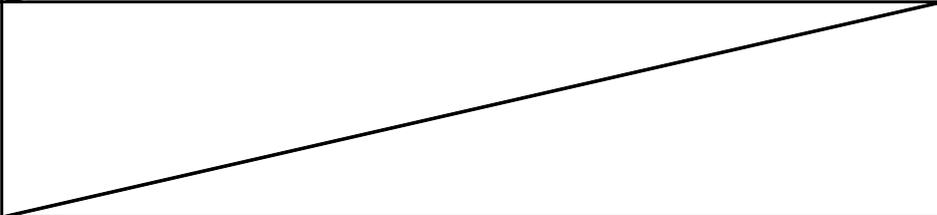
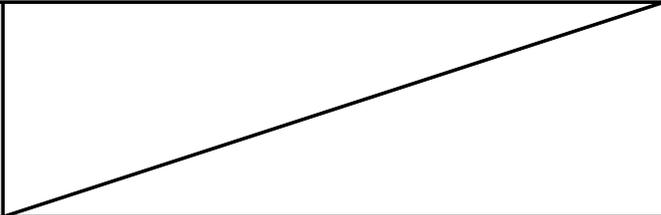
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

無し

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷凍機の更新時期に合わせ、インバーター制御の冷凍機へ更新する。</p> <p>○照明設備の新設、更新等における措置 照明器具の更新に合わせ、省エネルギー型設備を導入する。</p> <p>○空気調和設備約70%更新済み、計画期間に15%更新していく</p> <p>○照明設備照明約80%更新済み、計画期間に10%更新していく</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>省エネルギー設備の導入については、基準年度以前から積極的な取り組みを行っている。 具体的には次のような取り組みを実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青果物倉庫及び事務所内の照明器具を省エネルギー型設備に変更した。(2020年・2021年)</li> <li>・グリーン経営認証制度の更新</li> </ul>
---

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
無し	無し	

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	無し
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコマーク製品などを優先的に購入する。</li> <li>・ 分別回収ボックスを設置し分別回収に努める。</li> </ul>
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	7,753	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

3,934	KL
-------	----

ウ 事業所の数

2
---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
川崎支店	川崎市川崎区扇町13番1号	5,364 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
東扇島支店	川崎市川崎区東扇島27番地1	2,389 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>